

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	再利用促進事業	所管	環境クリーン部 リサイクルふれあい館
			TEL 2994-5374

事業の目的 (何の為に 行うか)	中古品の利用に対する抵抗感を軽減し、循環型社会推進のための3RのひとつであるReuse・・・リユース(再使用)を暮らしに定着させる。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	15,766	人

活動の内容	(何を したか)	①再生家具頒布:粗大ごみとして排出された木製家具を手直した後、館内で展示のうえ、抽選で月2回頒布する。小型家具については毎週金曜日に頒布。 ②不用品登録:「ゆずります」「もとめます」として登録された品物の情報提供。 ③もったいない市:拠点回収に出された古着・陶磁器を分別し、利用可能なものを館内で展示のうえ頒布。							
	活動実績	項目名	再生家具頒布申込み者数	5,495	項目名	もったいない市利用者数	10,075	項目名	不用品登録数
			----- 単位 人			----- 単位 人			----- 単位 件

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	9,197	8,692	23,347	68.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	事業利用者数	再生家具頒布申込み者数+もったいない市利用者数+不用品登録数	16,000 ----- 単位 人	15,766 ----- 単位 人	98.5 ----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了						
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕					終了
		予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	再活用促進事業	担当	部課コード	050500	TEL	2994-5374
事業コード	050503	担当	環境クリーン部 リサイクルふれあい館			
開始年度	平成 15 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ	リサイクルふれあい館					

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画	所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市リユース品頒布事務取扱要綱、不用品登録事業事務取扱要領
	関連・類似事業	陶磁器リサイクル推進事業、古着・古布リサイクル事業(廃棄物対策課)	
	総合計画の体系	政策 第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策 4節 廃棄物・リサイクル 中柱 1 ごみ減量とリサイクルの推進 小柱 (2)リサイクルの推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位 実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	コード	1111	市民の知りたい情報の提供
	事業開始の背景	ごみを出さない仕組みとして再利用の意識を促すため、平成8年12月開設の旧リサイクルふれあい館で行っていた木製家具の抽選頒布及び不用品登録制度の継続と、拠点回収を行っていた古着・古布類及び陶磁器について、館内で「もったいない市」として頒布することとなった。	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	中古品の利用に対する抵抗感を軽減し、循環型社会推進のための3RのひとつであるReuse(再利用)を暮らしに定着させる。
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 市民 リサイクルふれあい館再利用促進事業利用者
	対象数	単位
	平成 18 年度	337,883 人
	平成 19 年度	339,058 人
	平成 18 年度	17,153 人
	平成 19 年度	15,766 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	
	①再生家具頒布:粗大ごみとして排出された木製家具を手直した後、館内で展示のうえ、抽選で月2回頒布する。小型家具については毎週金曜日に頒布。 ②不用品登録:「ゆずります」「とめます」として登録された品物の情報提供。 ③もったいない市:拠点回収に出された古着・陶磁器を分別し、利用可能なものを館内で展示のうえ頒布。	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input type="checkbox"/>
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点	
	古着や陶磁器等の「もったいない市」をより利用しやすいように、時季に合った展示頒布を行った。また、リサイクルふれあい館を広く周知するために、他の事業会場(市民フェスティバル)において、「もったいない市」を実施した。	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		7,608	9,197	15,658
	決算(見込み含む)		7,140	8,692	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (3.20 人) (人) (3.20 人)			
	正規職員人件費	1.56 人	14,352	1.56 人	14,655
	公債費				
	事業費合計		21,492	23,347	
	財源内訳	一般財源	21,492	23,347	15,658
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	63.6	68.9		
	利用数一単位あたり(単位:円)	1,253.0	1,480.8		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	再生家具頒布申込み者数	計算方法	申込み数/2(一人2点まで申込み可能)	単位	人	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	もったいない市利用者数	利用実績		人		10,943	10,075		
		不用品登録数	登録件数		件		411	196		
	成果分析	事業利用者数	再生家具頒布申込み者数+もったいない市利用者数+不用品登録数		人		目標値 14,000	16,000	17,000	
					%		実績 17,153	15,766		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		実施主体	市・ボランティア	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	<input checked="" type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		受益と負担の関係	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	利用者がより利用しやすい環境や利用状況にあった頒布を行っていく。					
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	平成20年度における目標設定			
平成21年度における事業の方向性	ごみを出さない仕組みとして再利用の意識を促す。						
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由	利用者は減少しているものの、仕入数及びリサイクル品売払いは増加していることから、市民生活に「再利用」の意識が定着しつつあることがわかる。今後も市民等が利用できる場を増やし、市民生活に「再利用」の意識の定着を図る。						
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	リサイクルふれあい館長 本澤 勉				

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由					C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	322
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2-2リユース・リサイクルの推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			